

多重債務者相談窓口向けアンケート
(財務(支)局、沖縄総合事務局)

※ 数値は、財務広報相談室(官)に寄せられた相談件数等の合計値とし、財務事務所及び出張所の数値も含まれます。

1. 相談窓口における相談状況について

Q1. 平成24年10月1日～平成25年9月30日までの月別の相談件数をお答えください。

※ 非対面による相談とは、電話、ファックス、メール等による相談を指します。

	24年 10月	11月	12月	25年 1月	2月	3月
I. 対面による相談件数	①	④	⑦	⑩	⑬	⑯
II. 非対面による相談件数	②	⑤	⑧	⑪	⑭	⑰
III. I. II. のうち、相談者が他財務(支)局(沖縄総合事務局を含む)の住民である件数	③	⑥	⑨	⑫	⑮	⑱

4月	5月	6月	7月	8月	9月
⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔
㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚
㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱

Q2. 相談者のプロフィールについてお答えください。

(平成24年10月1日～平成25年9月30日までの合計人数)

※ Q1でお答えいただいた相談件数(合計)の内数でご記入ください。

※ 「相談者」とは、多重債務を抱えている本人を意味します(例えば、夫婦・親子等で相談に訪れた場合であっても、当事者である一人についてご記入ください。)

(1) 性別

	男	女	不明
人数	①	②	③

(2) 年齢層

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	不明
人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

(3) 職業

	給与所得者	自営・自由業	家事従事者	学生	無職	不明
人数	①	②	③	④	⑤	⑥

※ 職業の分類は、PIO-NET の分類（消費生活相談カードの記載項目）に従うこととします。

Q3. 多重債務者からの相談内容についてお答え下さい。

(平成24年10月1日～平成25年9月30日までの合計人数)

(1) 相談者の抱える借金の状況

※ 借金の額については、相談の過程で聞き取ることできた額とします。

金額	人数
100万円未満	①
100万円以上 200万円未満	②
200万円以上 300万円未満	③
300万円以上 400万円未満	④
400万円以上 500万円未満	⑤
500万円以上	⑥
不明	⑦

(2) 相談者の借金をしたきっかけ

※ 「きっかけ」とは、最初に貸金業者から借金をすることとなった理由とし、複数回答を可とします。

きっかけ	人数
低収入・収入の減少(生活費・教育費等の不足)等	①
商品・サービス購入	②
ギャンブル・遊興費	③
事業資金の補填	④
保証・借金肩代わり	⑤
住宅ローン等の借金の返済	⑥

本人、家族の病気・けが	⑦
その他	⑧
不明	⑨

(3) 相談者の年収

※ 「年収」は、世帯収入とします。

年収	人数
100万円未満	①
100万円以上 200万円未満	②
200万円以上 300万円未満	③
300万円以上 400万円未満	④
400万円以上 500万円未満	⑤
500万円以上 600万円未満	⑥
600万円以上 700万円未満	⑦
700万円以上 800万円未満	⑧
800万円以上 900万円未満	⑨
900万円以上 1,000万円未満	⑩
1,000万円以上	⑪
不明	⑫

(以 上)